

平成30年度 協働事業提案制度および地域振興基金を活用した区民活動助成制度 (第2回)の審査結果について

1. 協働事業提案制度

(1) 目的

行政課題に対して、自由な発想や専門性等を活かした事業の提案を公募し、基本構想の理念の一つである「区民と区との協働で『私たちのまち』品川区をつくる」を推進する。

(2) 事業概要

区が提起する地域課題や社会的課題に対して、区民(団体)が解決するための事業を提案する。書類審査、面接審査を経て選考し、採択された事業は翌年度実施。

【区が提起する課題解決への提案事業】

課題「食品ロス(フードロス)の削減」(環境課)

(3) 審査経過

第1回審査会 平成30年7月13日(金) 第一次審査(書類審査)

第2回審査会 平成30年7月26日(木) 第二次審査(面接審査)

(4) 審査方法

「品川区協働事業提案制度審査委員会」にて、書類審査、面接審査を経て選考。

【1】審査委員

学識経験委員長1名、副委員長1名、公益活動実践者1名、公募委員2名、区職員2名
計7名

【2】審査基準

- ① 区が提起する課題に対する認識・理解が正確であり事業目的が課題に対応しているか
- ② 事業内容が目的と整合しており、成果を確認する方法(時期、数値、指標など)が具体的に示されているか
- ③ 実現可能な事業計画・スケジュールが具体的に示されているか
- ④ 事業実施に当たって、適切な人員体制等が組み立てられており、責任体制が取られているか
- ⑤ 今後の事業の継続性・発展性が期待できるか
- ⑥ 団体の強みや専門性、独自性、先駆性が発揮できる内容で、またそれは具体的に示されているか
- ⑦ 区との「協働の利点・効果」や「区」、「提案団体」の役割分担が明確で協働による効果が期待できるか
- ⑧ 「区民」や「他の区民活動団体」の参加や参画が期待できるか
- ⑨ 資金計画が具体的であり、自らの資金確保が考えられているか
- ⑩ 資金の使途が事業目的に対し妥当であるか

(5)審査結果

提案件数：3事業（第一次審査選定 3事業 第二次審査選定1事業）

1. 選定事業 1事業

受付番号	提案事業名	申請団体	総事業費
1	キミマチプロジェクト IN 品川	(一社) リテラシー・ラボ	¥858,600
<p>[事業概要]</p> <p>①今後の主な消費者層となる青少年を対象としたワークショップを行い、課題解決のアイデアを形成し、地域への提案を行う。</p> <p>②ワークショップの内容をメイキング映像として残し、区イベントなどでの上映を通じて取り組みを広く紹介する。</p> <p>③ワークショップから生まれたアイデアの具現化までサポートを行う。</p> <p>[選定理由]</p> <p>未来の消費者層の中核となる青少年を対象としてワークショップの開催が、地域に向けた提案へと結び付く内容を評価。ワークショップの成果となる課題へのアイデアが、事業または施策として具現化されるまでのサポートを実行することと審査会意見を付記し、選定事業とした。</p>			

2. 不選定事業 2事業

受付番号	提案事業名	申請団体
2	地域の居場所発信「もったいないグルメ」大会と食品ロスに関する地域課題の解決	クローバーの会
<p>[事業概要]</p> <p>①普及啓発イベント</p> <ul style="list-style-type: none">・「もったいないグルメ大会」を開催し、区内の参加者からアイデアを募集する。・「もったいないグルメ大会」で、食品ロスに向けた地域課題解決の取り組みを発表する。 <p>②データ整備</p> <ul style="list-style-type: none">・「SHINAGAWA”もったいない”推進店」における食品残渣実態調査と地域における残渣減量への工夫調査を行い、一年間の活動実態の報告書作成。・余った食材を活用した食品レシピ本を作成。 <p>[不選定となった主な理由]</p> <ul style="list-style-type: none">・スケジュールおよび実施体制について、十分な確認が取れなかったため。		
3	地域内飲食店を対象としたフードロス対策事業	(特非) リトルワンズ
<p>[事業概要]</p> <p>①フードロス削減のためのデータ取得（対象飲食店にヒアリング・アンケート調査実施）</p> <p>集計データからフードロスの削減へのアプローチの模索、普及方法の工夫を行う。</p> <p>②「保険付き持ち帰りバック」作成と普及</p> <p>海外で一般的なドギー・バッグを導入し、掛け捨ての保険を付ける。食品を持ち帰るリスクを解消し、フードロスの削減が図れる。</p> <p>③「事業者への教育機会（勉強会開催）」「マニュアルの作成」</p> <p>事業者に対して、情報の提供、教育の機会を作る。同時にデータをもとに、事業者がフードロス削減を遂行しやすいようにマニュアルを作成する。</p> <p>[不選定となった主な理由]</p> <p>ドギー・バッグの認知度が不十分な中での活用は、現状では尚早と判断したため。</p>		

(6)今後の予定

平成31年度、環境課事業として実施。

環境課は選定団体と事業実施に向けて協議を開始。仕様が固まった上で、平成31年度予算要求を行う。(地域活動課協働推進係はオブザーバーとして参加)

事業内容の詳細については、平成31年度予算編成および議決をもって決定。

2. 地域振興基金を活用した区民活動助成制度(第2回)

(1)目的

品川区地域振興基金を活用し、区内で公益活動に取り組んでいる区民活動団体を対象に、地域の課題や社会的課題の解決に向けた事業に資金助成を行い、多様な公益活動の活性化を目指す。

(2)事業概要

区内で公益活動に取り組んでいる区民活動団体が、4月1日から翌年2月28日まで実施する事業に対し、資金助成を行う。

(3)審査経過

第1回審査会 平成30年7月13日(金) 第一次審査(書類審査)

第2回審査会 平成30年7月26日(木) 第二次審査(面接審査)

(4)審査方法

「地域振興基金活用推進会議」にて、書類審査、面接審査を経て選考。

【1】審査委員

学識経験委員長1名、副委員長1名、公益活動実践者1名、公募委員2名、区職員2名
計7名

【2】審査基準

- ①事業の目的が明確であるか、具体的に示されているか
- ②地域ニーズや地域課題、社会的課題を具体的に把握し示されているか
- ③多くの区民にとって有益な、公益性のある事業目的となっているか
- ④事業の内容が具体的で、目的と整合したものになっているか
- ⑤実施体制や責任体制が明確であり、実施内容と組織体制が整合しており、継続的な事業実施が期待できるか
- ⑥スケジュールが具体的で、実施可能な計画になっているか
- ⑦事業目的に合致し、成果が具体的に(数値、指標、状態など)示されているか
- ⑧事業を遂行することにより、団体の自立、成長、能力向上が期待できるか
- ⑨実現可能性の高い予算で、収支のバランスがとれ、費用の用途は事業目的に対し妥当か
- ⑩積算根拠が具体的かつ妥当に記載されているか

(5)助成金額の考え方

【1】助成額

- ①スタートアップ助成（品川区において活動の立ち上げを支援する）
助成対象額の4分の3以内で上限30万円
- ②チャレンジ助成（品川区において活動の継続・発展を支援する）
助成対象額の3分の2以内で上限50万円

【2】対象となる経費 謝礼、消耗品費、印刷費、使用料、人件費等

(6)予算

5,000千円（内、3,000千円は第1回助成額）

(7)審査結果

申請：2事業

・選定事業 2事業（スタートアップ助成2事業）

受付番号	事業名	申請団体	総事業費(助成額)
1	【スタートアップ助成 1年目】 ご近所芸術文化祭～誰もが先生、誰もが生徒～	ご近所芸術文化祭実行委員会(ご近所大学うなどこキャンパス)	462,350円 (226,000円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① 地域で社会的孤立に向かわない「つながり」を維持するきっかけを提供する。 ② 講座の企画・運営をすることで、多世代の誰もが気軽に先生・生徒となる機会を創出し、地域の埋もれた人材を発掘するための居場所づくりを行う。 ③ 地域住民が交流しながら楽しく自主的に学びの場をつくり、地域でのつながりを進めることで地域の活性化につながる。			
2	【スタートアップ助成 1年目】 西大井多世代交流プロジェクト	けめカフェ	432,000円 (256,000円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① 高齢化が進み、地域のつながりも希薄化する中で、コミュニティ形成に寄与する。 ② 2ヶ月に1～2回程度、多世代向けイベントを実施。地域における「ゆるやかな連携」を醸成し、地域包括ケア構築への寄与を目指す。 ③ コミュニティ形成を進め、地域の発展に寄与できる。			
合計			894,350円 (482,000円)

(8)今後の予定

助成金交付 平成30年9月上旬